

# 「だれでも」「無料で」「なんどでも」



## PCR検査を受けられる体制を

# 愛西民報

2021年  
1・2月  
第65号

〔発行〕  
日本共産党  
愛西市委員会

真野和久議員	09041984516
河合克平議員	09083333481
加藤敏彦議員	09091223969

愛西市12月定例議会は、12月25日、すべての議案を可決し閉会しました。

日本共産党議員団は、補正予算や市施設の民間委託などの議案に反対するとともに、コロナ対策、少人数学級、介護保険料などについて一般質問を行いました。

### 日本共産党が要求

### 市独自に高齢者施設などのPCR検査を



加藤敏彦議員

加藤敏彦議員は、一般質問で、愛西市にも新型コロナウイルス感染者が急増していることからクラスター（集団感染）を防

ぐため、高齢者施設、児童施設、学校などの「社会的検査」の実施を求めました。これに対して部長は、PCR検査は実施しない旨の答弁を行い市民の不安に寄りそわない態度でした。日本共産党は、PCR検査を社会的に、大規模に行い、無症状感染者を保護する施策への転換を求めています。

### ため込んだ準備金を活用して

### 介護保険料の負担軽減を



河合克平議員

今年4月から介護保険料が改定されます。市の介護保険の状況は、県内で高齢化率は高いが、介護利用率は低めになっています。今期の第7期は、予定よりも給付費が少ないため、準備金を取り崩すことなく運営できたことを市も認めています。河合かつべい議員は溜め込んでいる介護準備金を使うなどして、介護保険料の軽減を求めました。

「インフルエンザ予防接種、中小業者への応援事業」  
共産党の要求が  
11月臨時議会で実現

7月に共産党市議団が市へ申し入れた同時流行を防ぐためのインフルエンザ予防接種補助の拡大や8月臨時議会で求めた商工業者への応援事業が、医療機関、介護施設、児童施設も申請ができる応援金として11月の臨時議会で創設されました。

（河合議員）  
準備金を活用して負担の軽減を図る考えは。（部長）  
第8期の保険料を見込むにあたり、9期を見据えたうえで、負担の軽減を考える。  
段階を増やし、  
低所得者の保険料軽減を

（河合議員）  
津島市のように、保険料の段階（下表段階を参照）を増やし、低所得者が払いやすい保険料体系にすべきではないか。

### 介護保険基金残高

令和2年予定	
準備金残高	4億7237万8690円
一人当たりの準備金	24,349円

（部長）  
今年までは11段階で設定している。第8期は、段階を増やしていくかも含め試算・検討している。



	段階	最低保険料	標準月額	最高保険料
愛西市	11段階	1,530円	5,100円	9,435円
あま市	12段階	1,560円	5,200円	10,400円
大治町	12段階	1,560円	5,200円	10,140円
蟹江町	11段階	1,650円	5,500円	10,450円
弥富市	12段階	1,385円	5,540円	11,634円
津島市	17段階	1,624円	5,600円	12,880円
飛島村	12段階	1,905円	6,350円	14,605円

### 国民健康保険税の改定で

## 固定資産のない世帯は負担増に

国保税の賦課方式が資産割をやめ3方式に変更する条例案が提案されました。税金を確保するために資産割額分を所得割額に加えるため、所得割が1億2300万円増やされます。

38%の世帯が増税になり、その内17%の固定資産のない世帯は大幅値上げになります。日本共産党は値上げに反対



### 公共施設の民間管理反対 公の責任を放棄するもの

市所有施設を民間の利潤のために利用する「指定管理制度」は、費用の縮減や、民間活力の導入によるサービスの向上を目的としていると宣伝していますが、本質的には、公務員を減らし、公の責任を放棄することにつながるの反対しました。

特に社会体育施設や社会教育施設は、市民が文化やスポーツに親しむ大切な施設です。

## 市独自で少人数学級実施を

真野和久議員は、少人数学級を市独自で行うよう求めました。



真野和久議員

教育委員会は、9月議会で教員の確保が困難だからできないと答えていました。これに対して、真野議員は犬山市の例をあげ、「犬山市では、全国的に常勤の先生を公募している」とその取り組みを紹介するとともに実施を求めました。

教育委員会は、教員の人材確保が困難な状況の中、採用の手段としては有効かとは考えるが、現時点では考えていないと答弁。

### 市は単独の実施は否定

また、真野議員は「小学校は3年生から、中学校は2年生から35人学級が40人学級になる。小学3年生、中学2年生から段階的に実施すること」を求めました。

教育委員会は、海部地区で、学校運営に関する調整を行うことで様々な課題に取り組んでいることから、

単独で取り組む予定はないと答弁しました。

### 学校統合

地元合意がなければ

計画はできない

真野議員が、「学校規模の適正化計画は(案)となっているが、本計画になるのはどの段階か」と質問すると、教育委員会は「市民の理解が不可欠だ。立田・八開地区の統合に關しても、地域の合意形成が必要と考えている」と答弁しました。

真野議員は「合意のない小中学校の統廃合は白紙にせよ」と要求しました。

### 一般会計補正予算

#### 職員のパソコン購入より

#### PCR検査を

コロナ感染者が愛西市でも急激に増えているのに、愛西市は検査をしようとしません。感染を押さえるために、臨時交付金を利用してPCR検査の社会的検査に積極的にとりくんでいる自治体は、全国に広がっています。

財源を付け替え、職員のノートのために1500万円

でパソコン購入、市役所に行く機会をへらす対策のまえに、市の職員や、学校、介護施設、福祉施設の職員に対する社会的検査を行う事が必要です。

重ねて実施するよう要求しました。



#### 交差点改良に異議あり

また市は、南河田の企業誘致にかかわる交差点改良の委託料について、日本共産党の質問に答弁しないという議会を無視した態度でした。

### 市の法律違反で共産党が申し入れ

#### 勝幡のスーパー地主の下水道加入金を減免

日本共産党愛西市議団は、12月8日、愛西市の下水道条例違反等の違反行為に対して、5項目の要望書を提出しました。

これについて以下の申し入れをしました。

条例にそって過去にさかのぼっての徴収不適切な行為に対する職員



市は、下水道利用料の延滞金を徴収していなかったり、ドン・キホーテ勝幡店の地主の加入分担金を職員が上司の決裁を得ずに減免をしていました。

市は、下水道利用料の延滞金を徴収していなかったり、ドン・キホーテ勝幡店の地主の加入分担金を職員が上司の決裁を得ずに減免をしていました。

住民監査請求された内容の経緯を再度検証し、責任を明らかにする

条例違反行為について広く市民に対し、十分な説明を行う

の5項目を求めました

特に、以前の計画にあった交差点の47㎡の隅切りについては、家屋を取り壊すなど過剰な拡大をすすめるようとしています。

さらに、営業補償まで含め金額がうなぎ上りになる可能性があること、買収については、三角ではなく四角になる可能性もあることが心配されます。

必要以上につき込むこととなる疑念があります。

こうしたことから、共産党市議団は補正予算案には反対しました。

最小の費用で最大の効果をあげるといって地方自治法の精神からいっても、市民の血税

日本共産党発行

**しんぶん 赤旗**

日刊 月3497円  
日曜版 月930円

愛西市の読者ニュースが  
毎週折り込まれます。  
お申し込みは共産党市議